

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大郷町 (04422)
地域名 (地域内農業集落名)	大谷西部地区 (東成田、中村、鶉崎、土橋)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	216 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	216 ha
② 田の面積	215 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	33 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	14.9 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	128 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	87 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

大谷西部地区では、高齢化による後継者(担い手)不足が顕著であり、近年の資材・燃料・機材等の価格高騰の影響も含め、農業収益が上がらないことが課題となっている。(野菜等農作物の価格が低いことが意欲低下を招く)また、圃場が小さく作業効率が悪い農地や用水路の改修が望まれる圃場があり、管理が不便な場所も多い。より耕作地の集約化を進める必要性がある。また、近年では猪被害の増加も課題となっている。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

条件の悪い圃場を解消するため条件整備事業を実施しつつ、中間管理事業を活用したシャッフルにより農地の集約化を図る。規模拡大を進めつつ、水路等の圃場整備を行い、より農地の集約化を進めていく。収益増を目的に、米以外の付加価値の付いた売れる作物(天候に強い作物・珍しい作物など)の栽培に取り組む。担い手については、個人農家の協力体制を模索しながら法人化などを検討し、地域の農業を担う経営体の明確化を図っていく。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

## (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

地域内の農業法人及び認定農業者を中心に「農業を担う者」への集積・集約を推進する。耕作継続が困難な農地については、転作や保全管理など、地域で協力しながら、負担とならない最低限の維持に努めていく。

## (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	69.2 %	将来の目標とする集積率	76.1 %
--------	--------	-------------	--------

## (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

現状の耕作者から変更になる際、中間管理事業の活用や担い手の交換を積極的に促し、耕作者に負担の少ない効率的な営農に向け、団地面積の増加を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地の集約化を進めるためには、農地の所有者にも合意を得たうえで耕作者の変更や交換を行う必要がある。担い手により良い、効率的な耕作環境を整備するため、農地の所有者や地域にも協力を求めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の賃貸借契約や利用権設定、契約更新の際、金納で契約ができ、継続的に耕作できる担い手に安心して農地を貸すことができる農地中間管理事業を広く周知し、主たる担い手に集約・集積を進めていく。また、耕作者の変更など、適宜耕作者が営農しやすい契約内容に更新を促していく。
(3)基盤整備事業への取組
大規模な基盤整備に取組む予定はないが、比較的取り組みやすい耕作条件改善事業の導入を検討し、水路や排水機場などの部分的な耕作条件の改善を図ることを含め、担い手や地域と協議しながら進めていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
担い手の法人化や組織化を検討し、地域の主たる経営体を育成していく。売れる作物を栽培し、研修生等が参画しやすい環境を整え、新たな担い手の育成・呼び込みに取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
現在、同様の支援サービスの活用の予定はないが、地域の実情に応じて活用を検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①: 猪による被害が増加していることから、町猟友会と連携し鳥獣駆除を行う。また、鳥獣被害防止施設購入助成を行い、防止対策の拡充を図っていく。
- ②: 付加価値を付けた農作物を作るため、商品価値の高い有機農業・有機栽培等の取り組みについて検討していく。
- ③: ドローンによる農薬散布、トラクターや田植機の自動操舵システム導入による業務効率化に取り組む。
- ⑨: ホールクローブサイレージへの取り組み促進や動植物由来の有機肥料を活用した農作物の生産を推進していく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。  
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。  
 3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。  
 4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。  
 5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	西部1	水稲・肉用	12.6 ha	0 ha	水稲・肉用	13.8 ha	0 ha	桜	
2	認農	西部2	水稲・大豆	13.1 ha	0 ha	水稲・大豆	14.4 ha	0 ha	橙	
3	認農	西部3	水稲・肉用	2.5 ha	0 ha	水稲・肉用	2.8 ha	0 ha	深緑	
4	認農	西部4	水稲・肉用	5 ha	0 ha	水稲・肉用	5.5 ha	0 ha	青	
5	認農	西部5	水稲	1 ha	0 ha	水稲	1.1 ha	0 ha	灰	
6	認農	西部6	水稲・野菜	5 ha	0 ha	水稲・野菜	5.5 ha	0 ha	灰	
7	認農	西部7	水稲・野菜	6.3 ha	0 ha	水稲・野菜	6.9 ha	0 ha	灰	
8	認農	西部8	水稲・大豆	5.8 ha	0 ha	水稲・大豆	6.4 ha	0 ha	灰	
9	認農	西部9	水稲・野菜	8.2 ha	0 ha	水稲・野菜	9 ha	0 ha	灰	
10	認農	西部10	水稲・大豆	0.9 ha	0 ha	水稲・大豆	1 ha	0 ha	灰	
11	認農	西部11	水稲・大豆	3.3 ha	0 ha	水稲・大豆	3.6 ha	0 ha	灰	
12	認農	西部12	水稲・野菜	31.6 ha	0 ha	水稲・野菜	34.8 ha	0 ha	緑	
13	認農	西部13	水稲・野菜	0 ha	0 ha	水稲・野菜	0 ha	0 ha	灰	区域外のみ
14	認農	西部14	水稲	9.8 ha	0 ha	水稲	10.8 ha	0 ha	灰	
15	認農	西部15	酪農	1.2 ha	0 ha	酪農	1.3 ha	0 ha	灰	
16	集	西部16	大豆	17.9 ha	0 ha	大豆	19.7 ha	0 ha	灰	
17	集	西部17	水稲	25.2 ha	0 ha	水稲	27.7 ha	0 ha	桜桃	
18	利用者	西部18	水稲	0 ha	0 ha	水稲	0 ha	0 ha	薄緑	区域外のみ
19				ha	ha		ha	ha		
20			合計	149.4 ha	ha	合計	164.3 ha	ha		